



宮古市
Miyako City



防災資機材整備事業

多様化する社会における
災害初動対応の充実のために



国指定名勝「浄土ヶ浜」

岩手県 宮古市
企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト

本州最東端のまち「みやこ」

(プロジェクトの概要)

宮古市は、地震、津波、高潮、風水害、土砂災害などの多様な災害の危険性を有しています。

関係機関との災害時における協力協定の締結を積極的に進めていますが、災害発生時の初動における対応は、自治体の備蓄状況が大きく影響します。

このことから、宮古市では大規模災害による被災者の当面の生活に必要な資機材の整備を進めています。



(事業の具体的な内容)

▷ 生活必需品の備蓄

大規模災害による被災者の当面の生活に必要な食糧、飲料水などの備蓄。



▷ 要配慮者のための備蓄

足腰に不安のある方が快適に過ごすための簡易ベッドなどの備蓄。



▷ プライバシーの確保

簡易パーティションなどの備蓄。



▷ 停電時の電源確保

ポータブル電源や可搬型太陽光発電システムの整備。



(事業費)

2,100万円

(寄附目標額)

970万円

(企業の皆様へのメッセージ)

宮古市では、これまで東日本大震災や平成28年台風10号、令和元年東日本台風による被災を教訓に、円滑な避難方法、防災教育、情報提供手段の拡充等のソフト事業による防災対策と組み合わせて、被害を最小限に食い止めるため、防災資機材整備を進めてまいりました。

複雑多様化する社会環境に伴い変化していく市民のニーズに寄り添うため、今後はより充実した防災資機材の用意、備蓄が必要になります。

当市の取り組みにご賛同いただきますようよろしくお願いいたします。